東淀川区西部地域
バリアフリーまちづくり通信

発行：東淀川区役所 地域課（企画調整）
令和6年9月号

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号　電話：06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

第51回 まちづくり構想部会を開催しました　令和6年9月12日

東淀川区西部地域における大阪市の取組や各地域での活動状況などについて、話し合いました。

淡路駅エリアのまちづくりについて

大阪市計画調整局から、今年度内にとりまとめを行う「淡路駅エリア計画」案の骨格について情報提供がありました。

◆淡路駅エリアは、新幹線駅と近接性が高く、4つの鉄道駅が集積し各方面へのアクセスが可能で、広大な開発用地（柴島浄水場上系用地）を有するなどポテンシャルが高まっていく

◆まちづくりの大きなコンセプトとしては、「交流促進機能」「交通結節機能」「都市空間機能」を導入・集積して、拠点性の向上を図っていく

◆居心地が良く歩きたくなるまちなか、人が中心の空間をつくっていきたい

淡路駅エリアのまちづくりについて 意見交換

◆「歩いてくらせるまち」のイメージは素晴らしい。新大阪から梅田や天六あたりだけでなく、淡路にも人を誘導し、現在と大きく変えていこうとしているプランである、と受け止めて期待したい。

◆高架下の利活用は、以前から地域で下新庄駅について検討している。今日の説明だと、柴島駅や崇禅寺駅にスポットが当たっているように感じる。地域への説明や意見聴取には、より一層の工夫を求める。

◆久教授（近畿大学総合社会学部教授）から、
「例えば、歌島豊里線の沿道の整備にあわせて、民間の建物の更新を誘導し、まちなみを整えるために協力してもらうため、ガイドラインを策定するなどが考えられる。」
とのお話がありました。

◆大阪市計画調整局から、「人中心の空間づくりは、まずは広大な開発用地（柴島浄水場上系用地）で民間敷地と一体として取り組んでいくことを考えているが、必要であれば検討していきたい。」との回答がありました。

情報提供 & 意見交換

◆コンサルタントから、高架下の活用事例について、説明がありました。

◆下新庄地域のワークショップ（下新庄福祉会館／9月5日開催）についての報告
21名が集まり、下新庄地域の防災と防犯について話し合いました。
・避難場所を阪急の高架下に作ってほしいという意見が多く出た。
・地域のあちこちで開催している地域活動をすべて駅の近くでできるよう、普段から多目的な利用ができる会館を求めている。

◆啓発地域のワークショップ（啓発社会福祉会館／9月4日開催）についての報告

◆「もと西淡路小学校跡地活用に係るマーケット・サウンディング」の実施について事務局から報告があり、柴島浄水場跡地活用の参考になるとの意見がありました。